私の好きなことば(124)

ＪＡ茨城県中央会・各連合会　会長
八木岡　努

「知行合一（ちこうごういつ）」

知行合一は中国明の時代、儒学者王陽明（おうようめい）が唱えた陽明学の中心思想を表すことばで、徳川光圀も朱舜水のアドバイスでこの陽明学を取り入れ水戸学を作りました。

知識だけでは不十分で、重要なのは行動だという教えだそうです。

私はずっと農業を生業としていました。その経験を経てＪＡ水戸の組合長となり、現職の茨城県の連合会会長を務めています。田畑の地面に近いところで過ごしていた日常が、机を前にして座り人と語ることに変わって益々この言葉の重要性を感じるようになりました。若い頃にやっていたラグビーも、戦略を語るよりチームのために身を呈してプレイすることで人も動き、個人の持つ力以上のチームが作り上げられます。重要なのは現場感覚であり、机上での議論で終わることなく行動に結びつけることが重要だということを、肝に銘じて日々を過ごすようにしています。